

ART & STORY:  
KURAI DO

1



! NTR

DOJIN  
R18  
成人向け

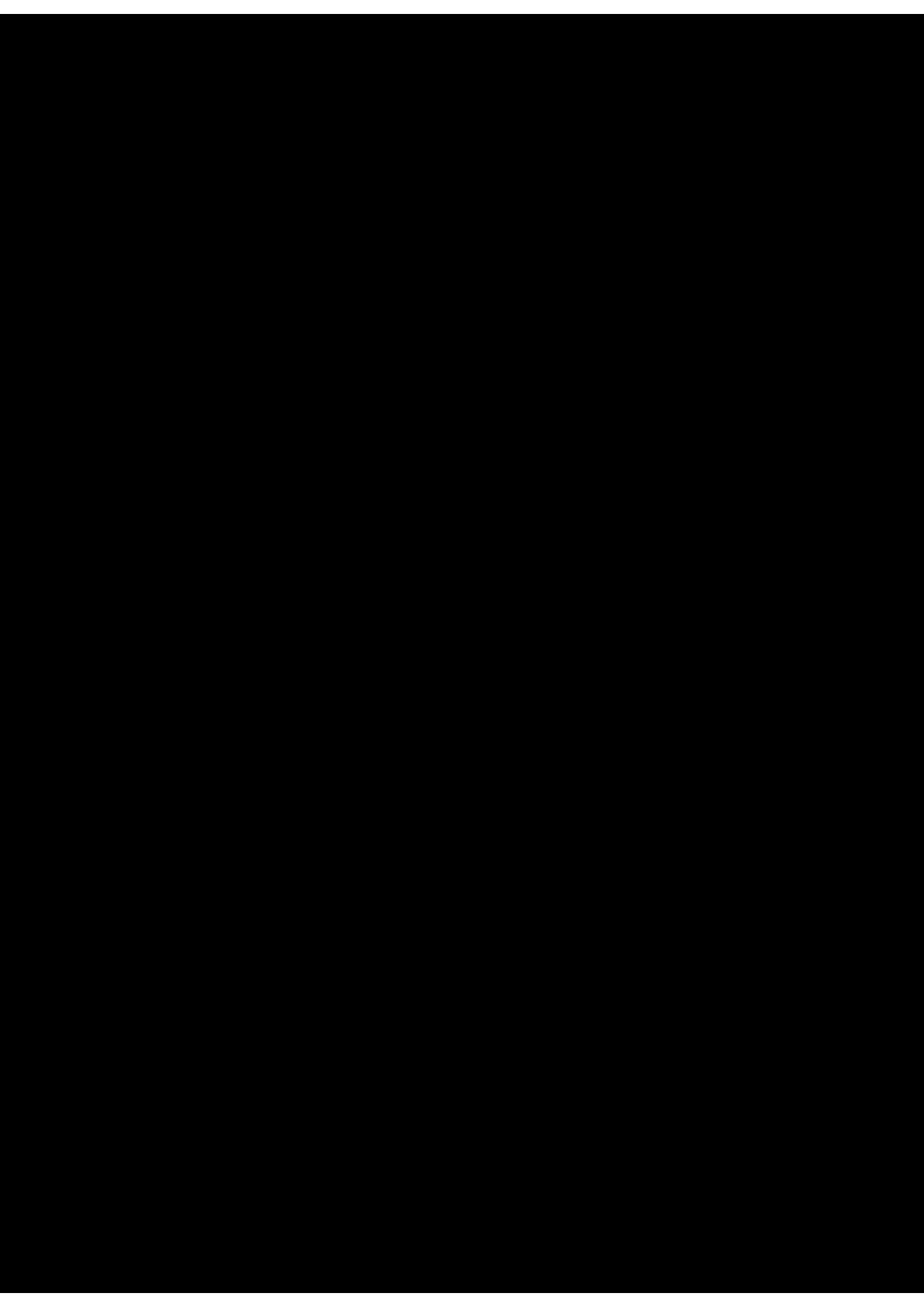
ART & STORY:  
KURAI DO

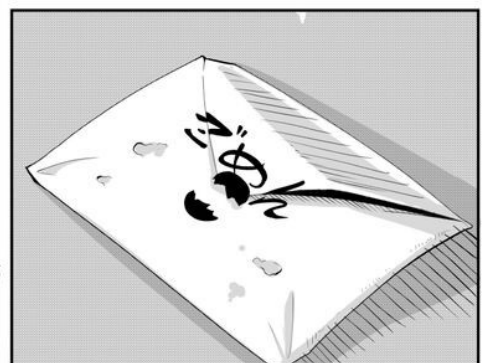
1

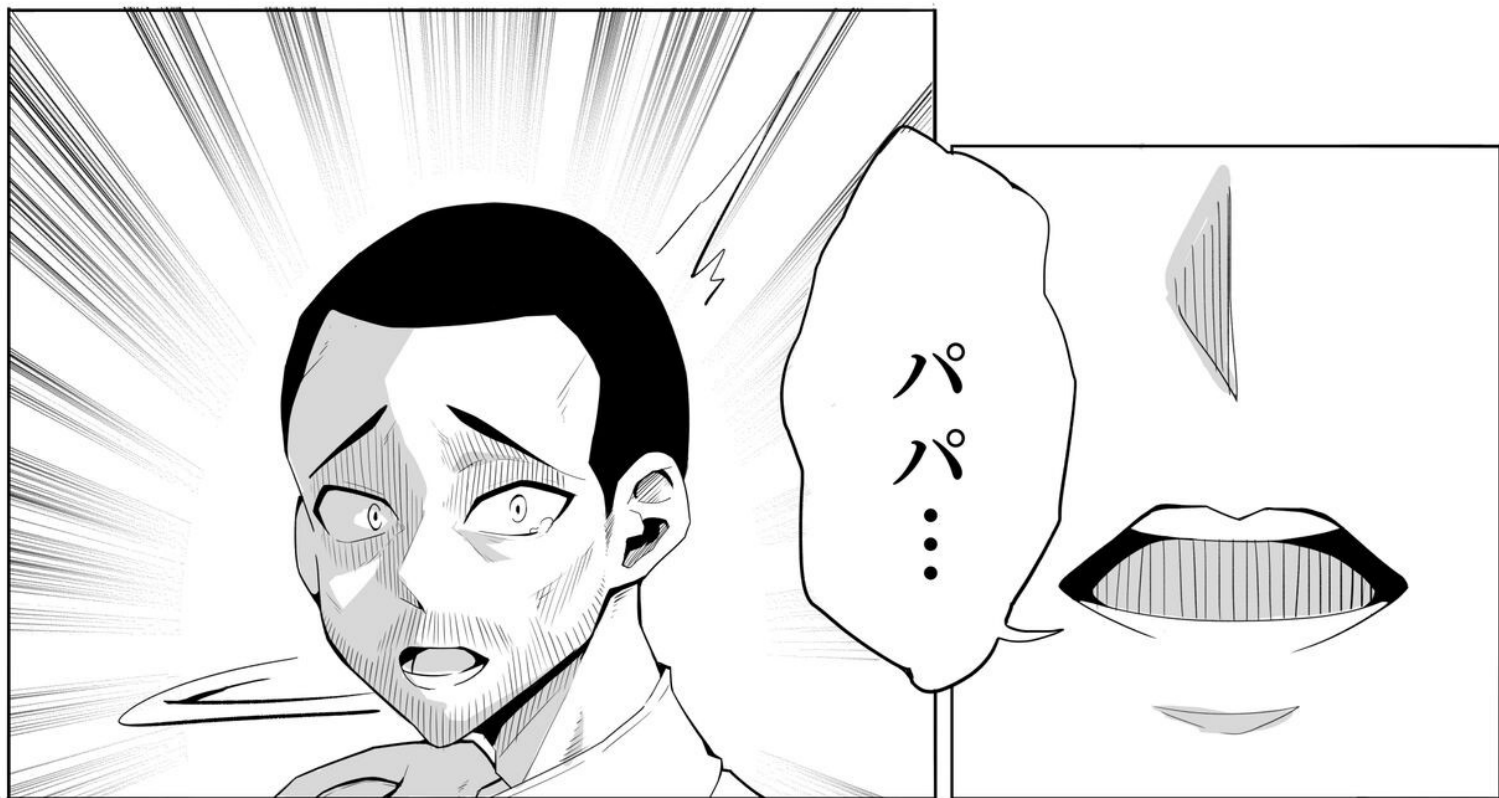
これは第2章です。  
プロットを理解するには  
最初のを  
読む必要があります

! NTR

DOJIN  
R18  
成人向け









これは大人の  
問題だから！



そんなこと  
言わないで！

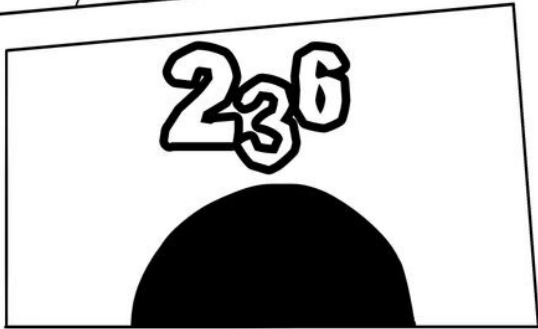
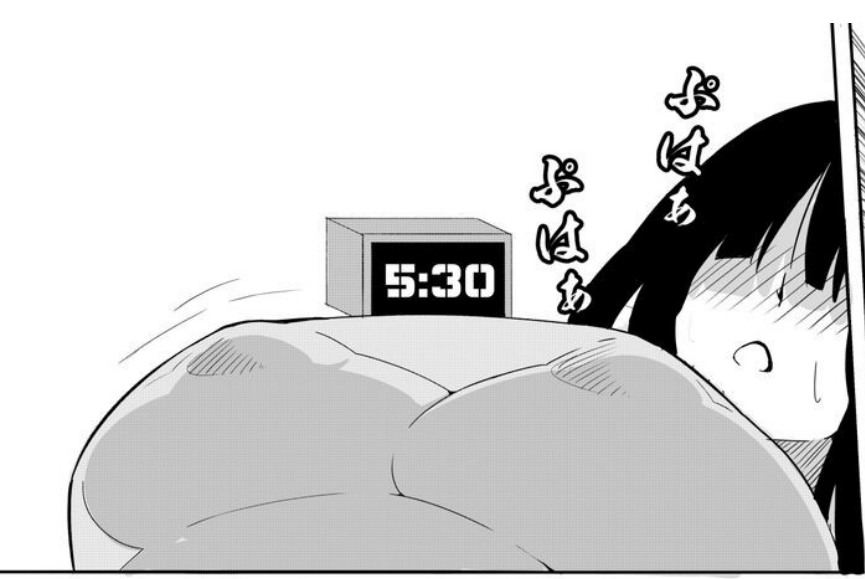
あなたのせい  
じゃない！



あなたには何の  
関係もない！



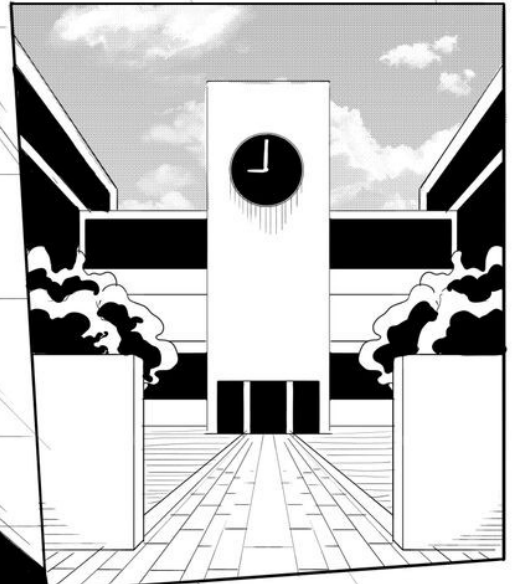
絶対に思いつ



忘れよう...



236



62

145



おや、ゆいな、  
気づかなかったけど、  
順位が上がったね

62

145

236

おめでとう、  
さっすがね



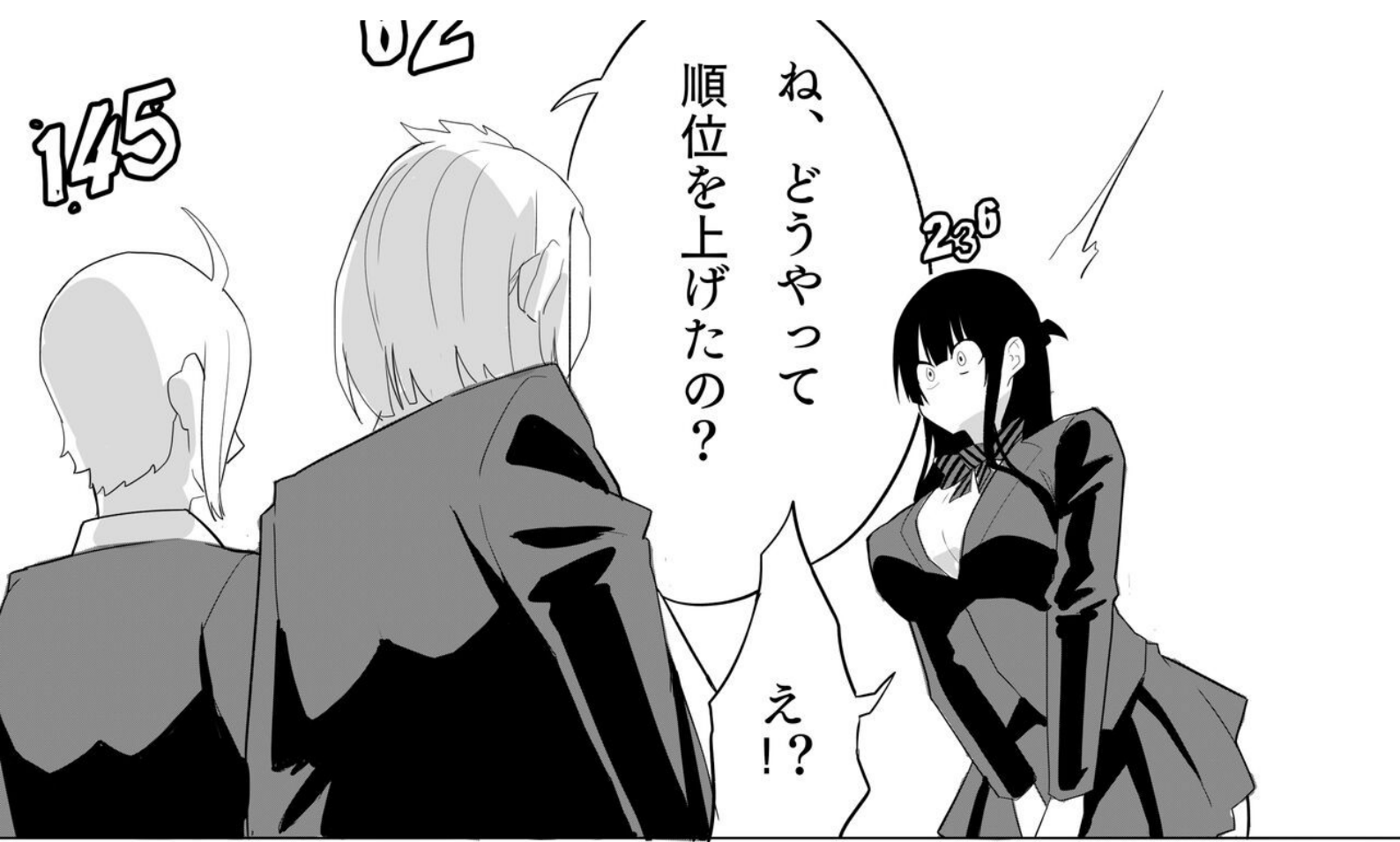


大丈夫だよ、もうすぐ1位  
になると思うよ。

うん、ありが  
でも、生徒会長としてはかなり  
低い順位だよね、そう思わない？

え…  
ええ…





ね、どうやって  
順位を上げたの？

236

え!?

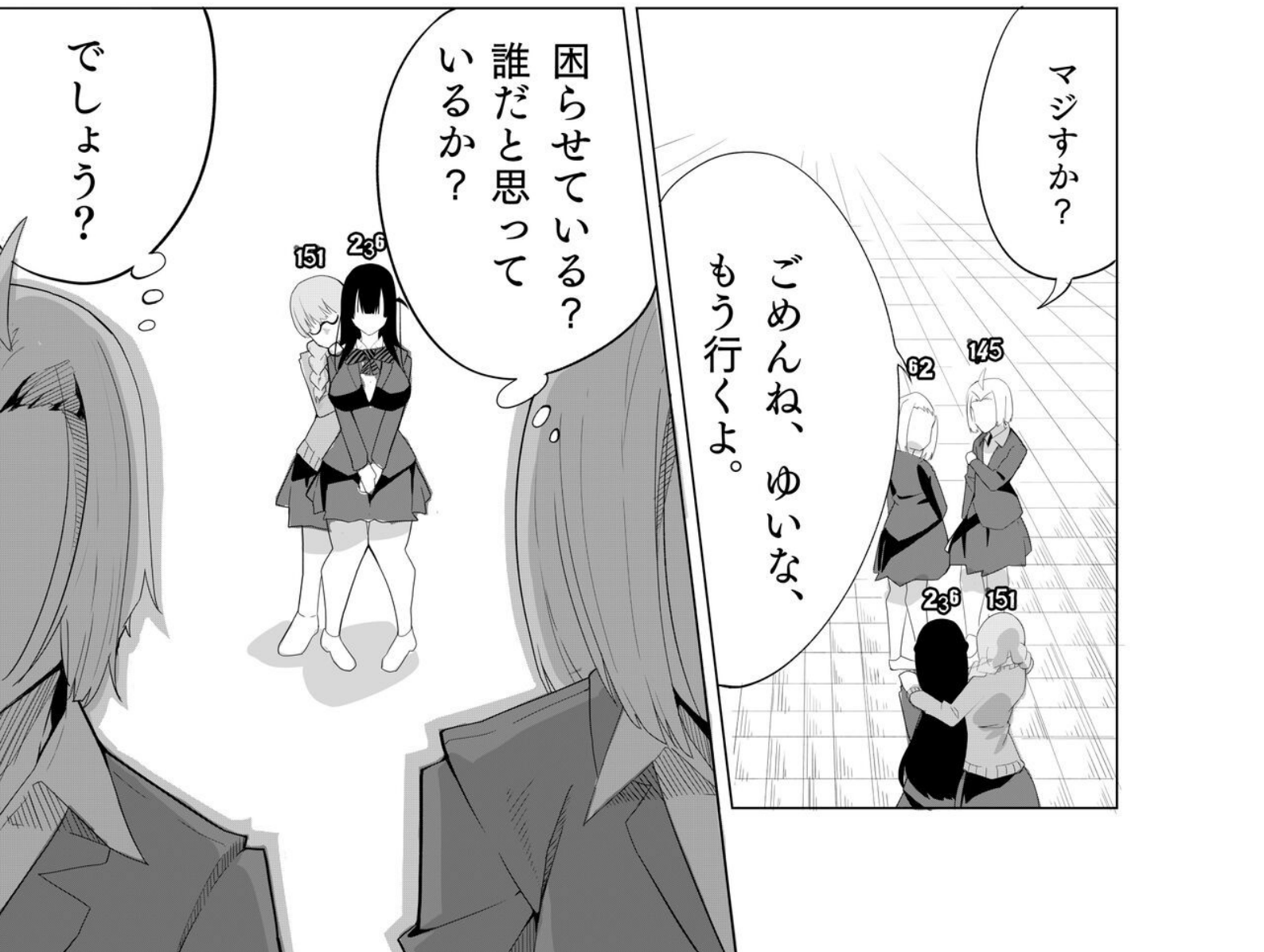


ま...ちよっと...ただ日常の  
ことをしてただけだよ。

それは嘘でしょ！  
きつと秘密の方法を  
知っているんだろう！

本当だよ

なんで教えてくれないの？  
その秘密を自分だけに  
隠すのは公平じゃないよ！







何を言っているの？

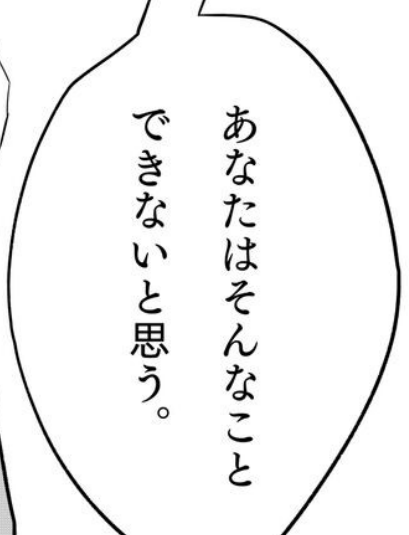
まあ：順位を上げる方法に

関する噂があるけど…

230



やっぱり忘れて。



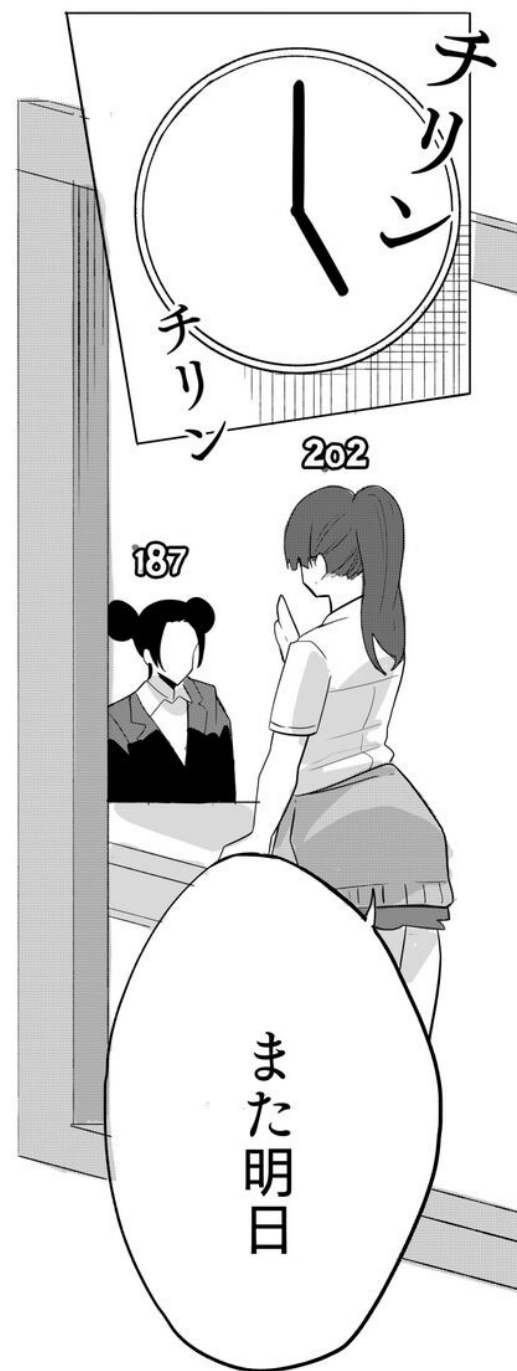
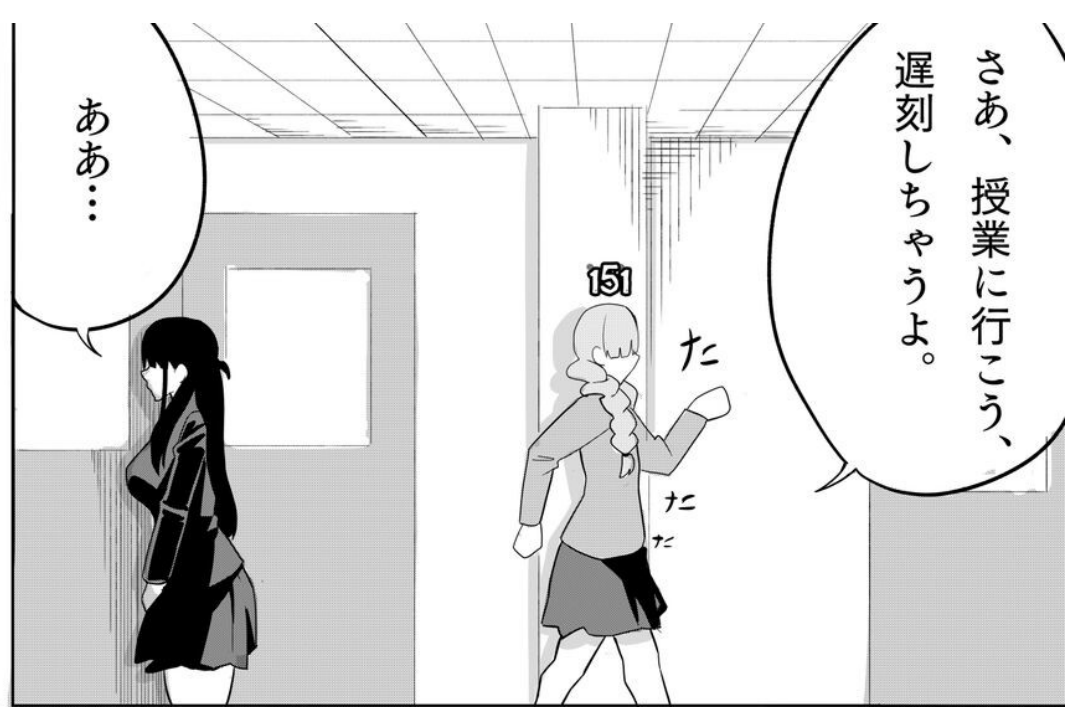
あなたはそんなこと  
できないと思う。

151



暗示してごめんなさい。







ゆいな、



私は君を誇りに思う

君は私が今までに指導した  
中で最高の生徒だ。

君がそこにいるだけで  
学校の名前が高まる。

236



あ…ありがとう！

さらに、君はすでに  
順位を上げている。

私の期待を裏切らない君だ。



校長先生、そのことは成績とは関係ありません

だからこそ、とても悲しいんだ。

私の一番の生徒がこんな低い順位にいることは…

がっかりだ…



順位を上げる方法を知っている。



ご覧の通り、これはこの学校の  
生徒だけに起こることです、

236

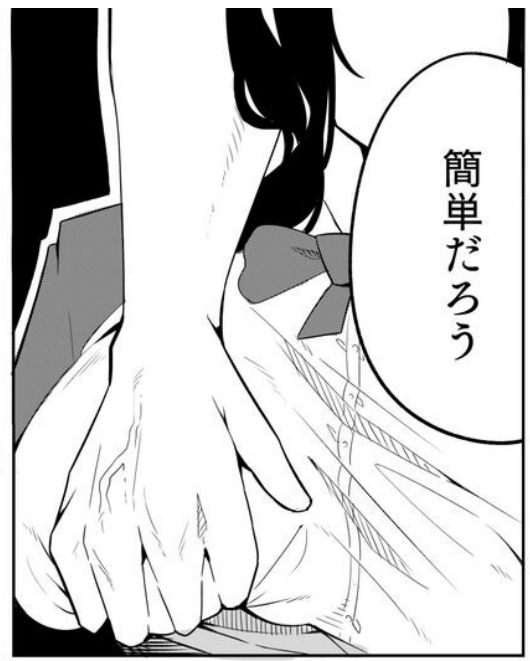
だからこそ、教師たちが言う

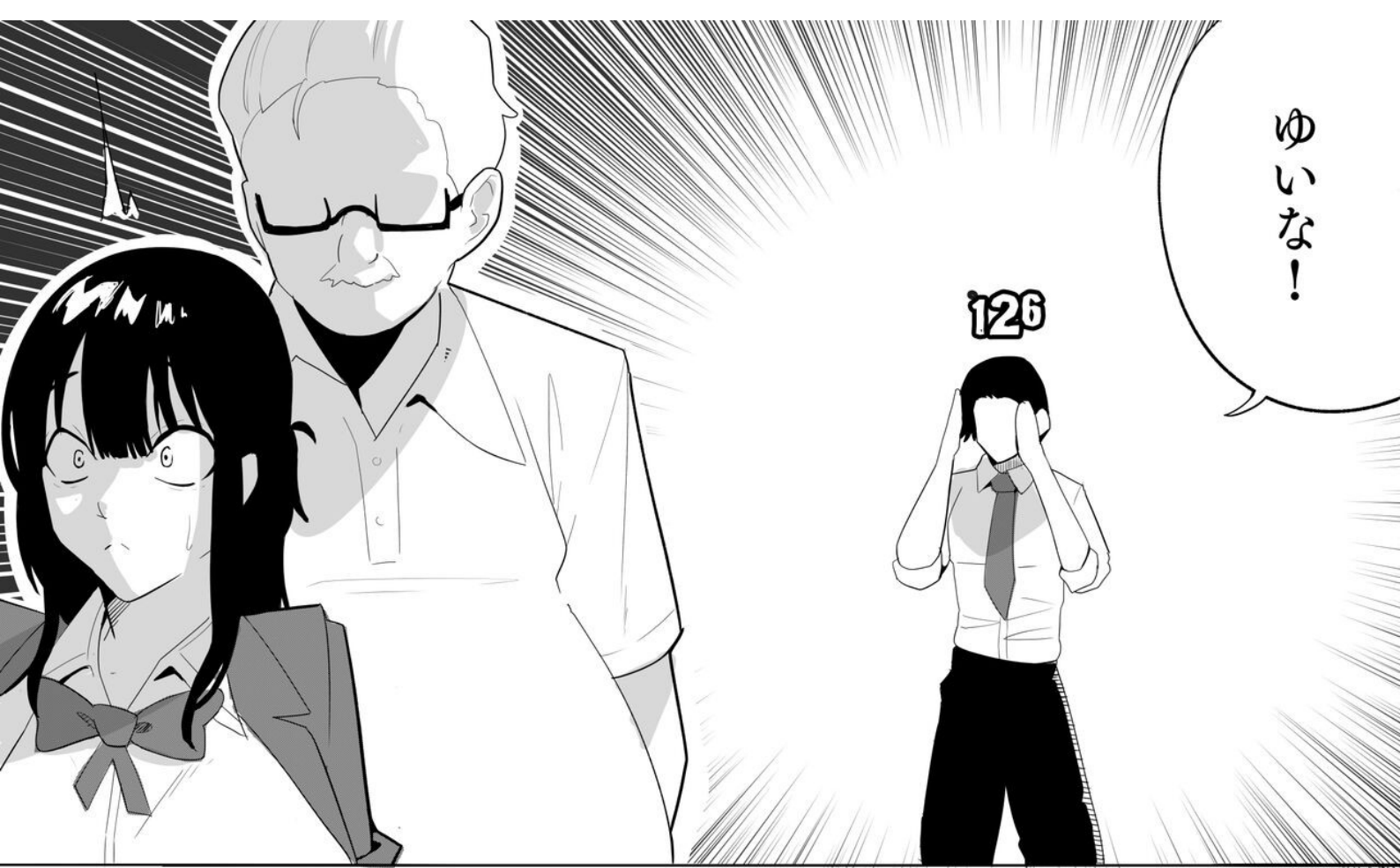
ことを聞けば順位を上げることがは

理にかなっていると思わないかい？

そう  
かもしれませんが…

教師たちが言うこと……





ゆいな!

126



わかった、わかった、落ち着いて。

126

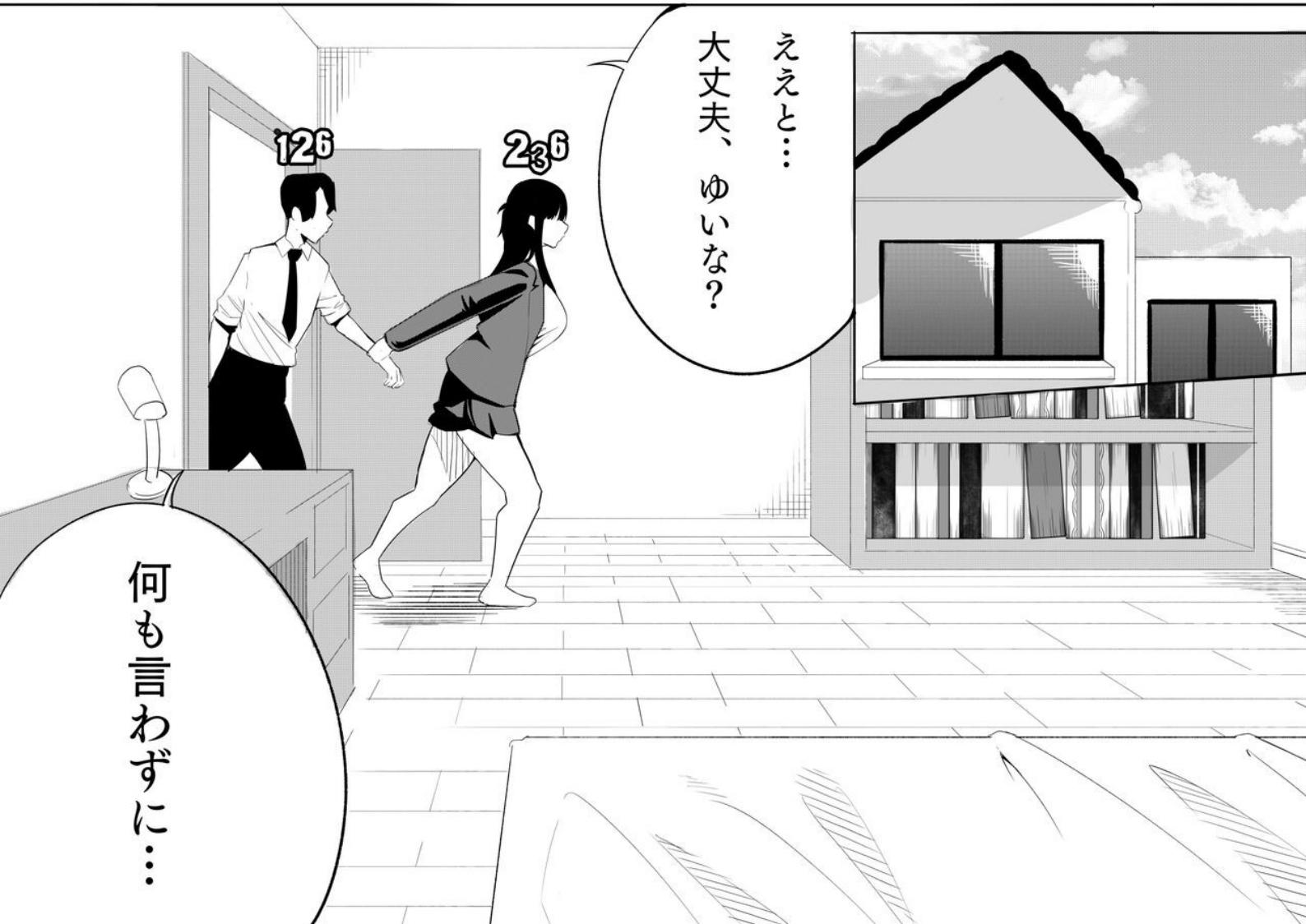
では、行こう

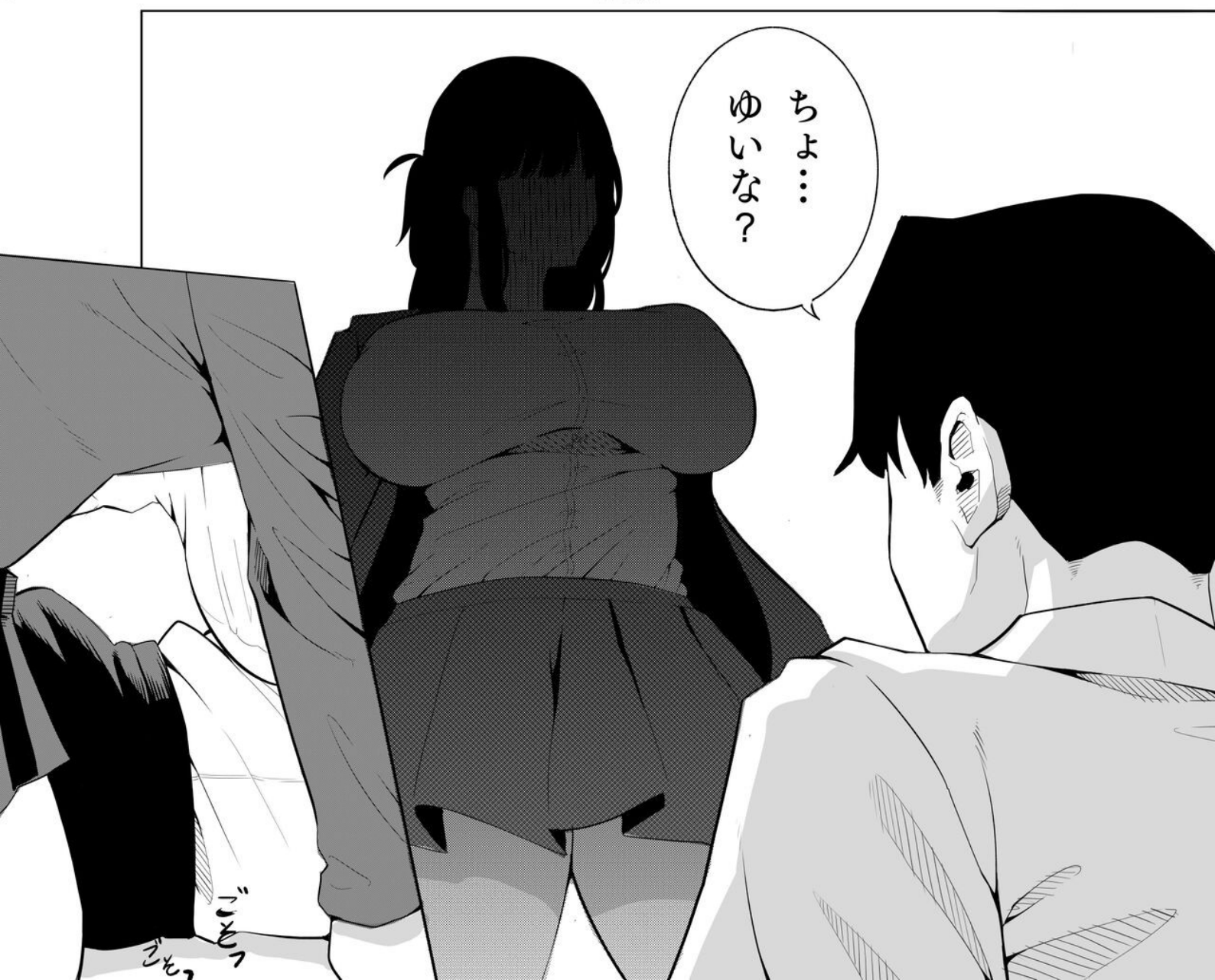
あ、ごめん、校長先生と話しているのは知らなかった。

236

126

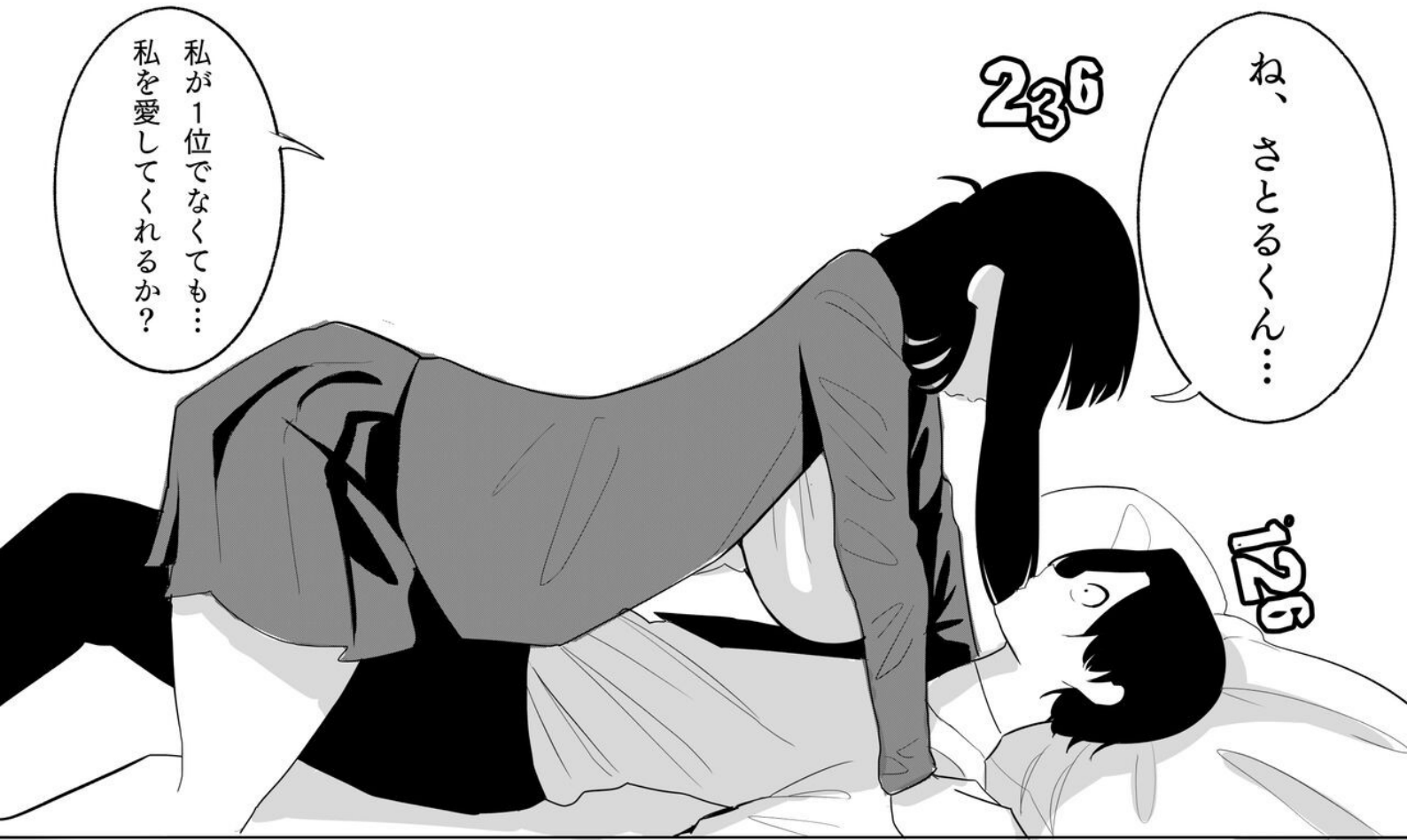
ああ、大丈夫だ、話はもう終わっていた。





ちよ...  
ゆいな?

126  
ちよ



私が1位でなくても…私を愛してくれるか？

ね、さとるくん…



あれ？  
なんだかデジャヴーを感じている…





俺は君が親切で働き者な女の子を愛したんだ。



俺は数字を愛したわけじゃないんだ。



聞いて、ゆいな



だから…

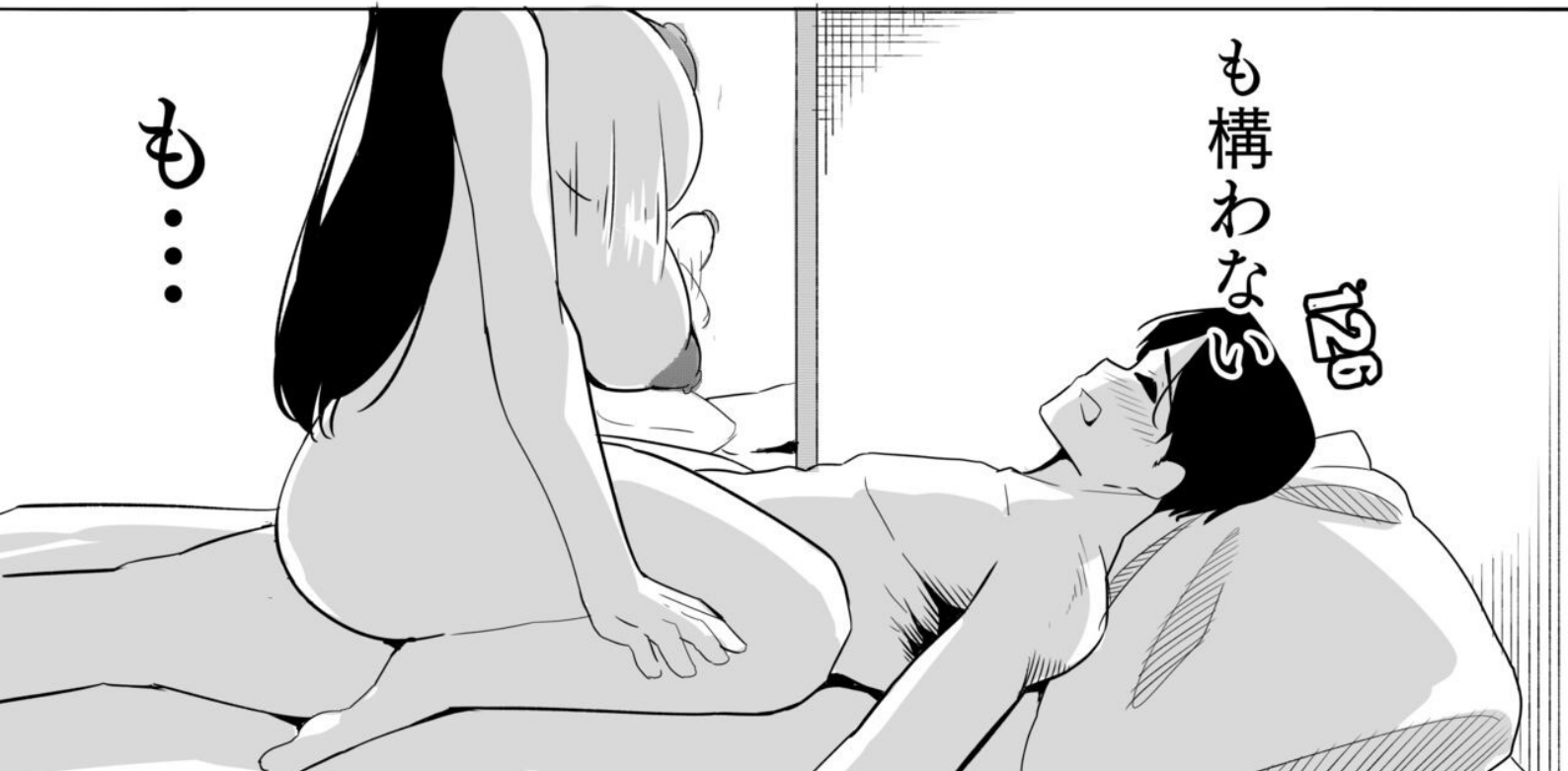
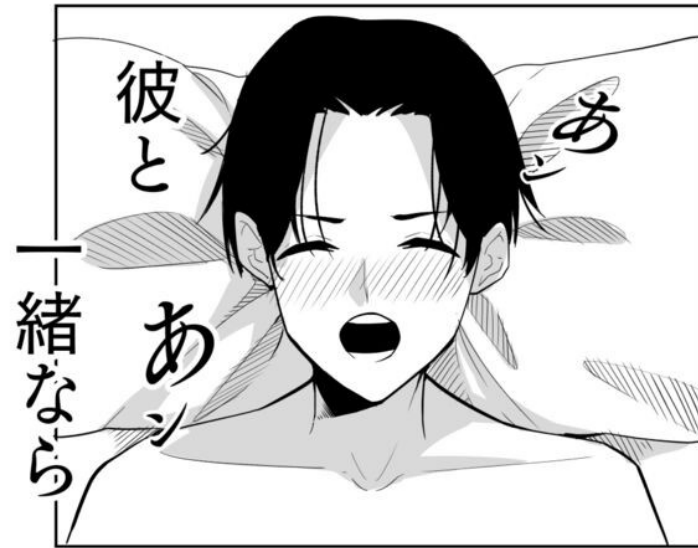
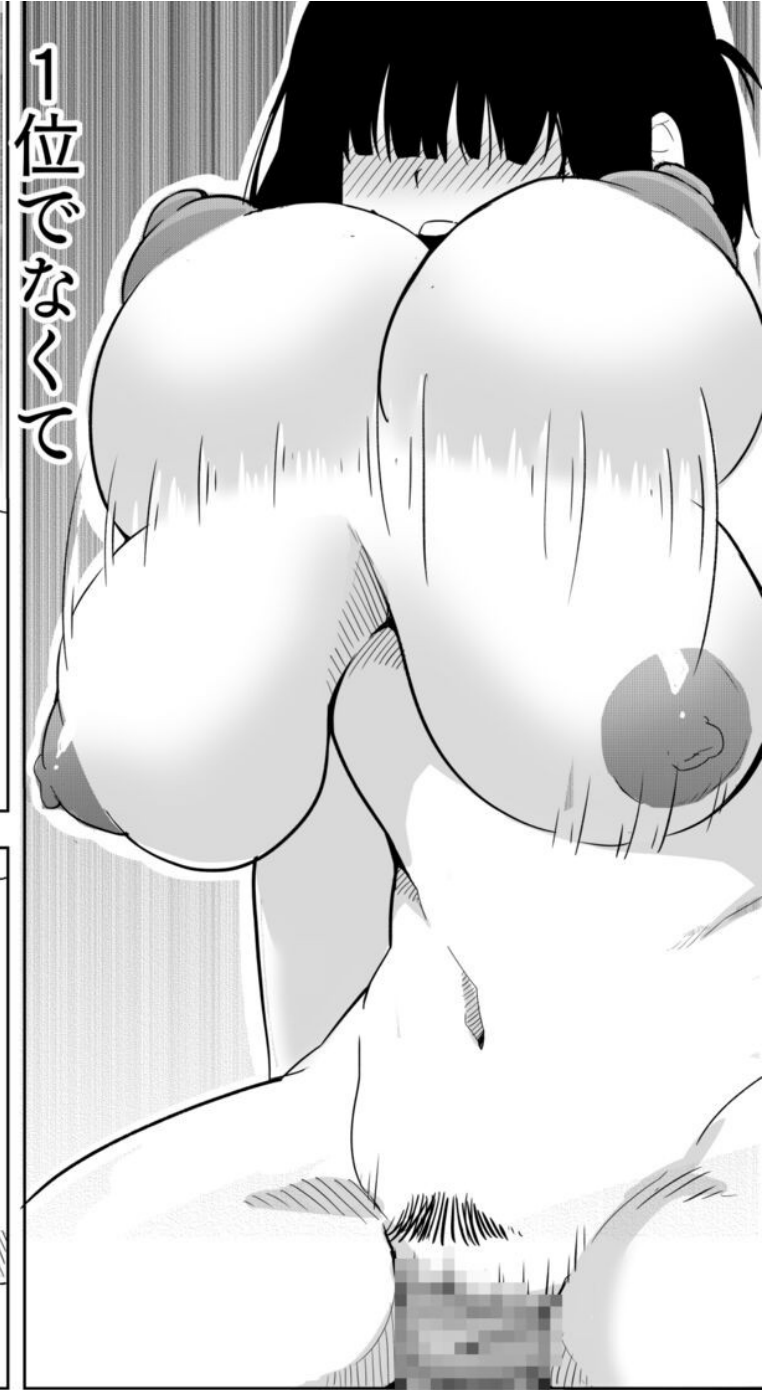


いい答えだ

君は

報  
わ  
れ  
る  
べ  
き  
だ。  
。





愛してるよ!

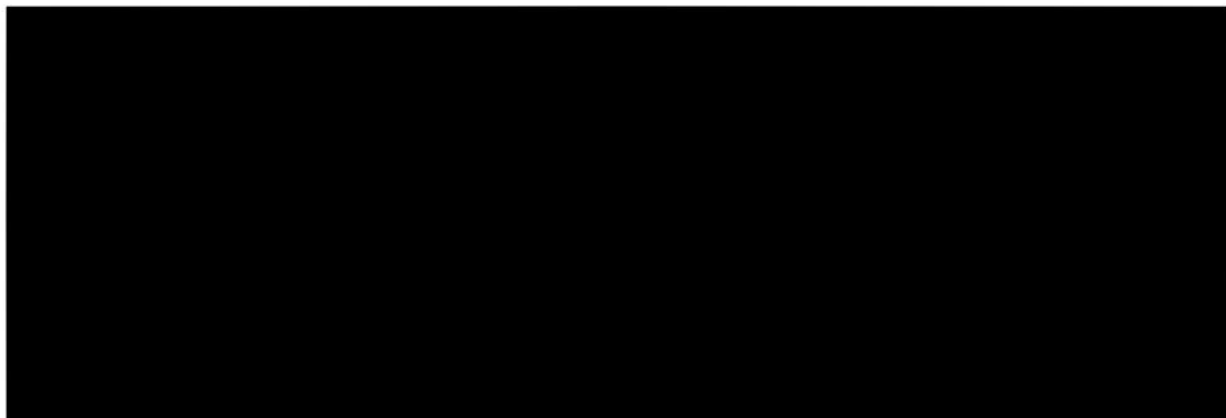
236

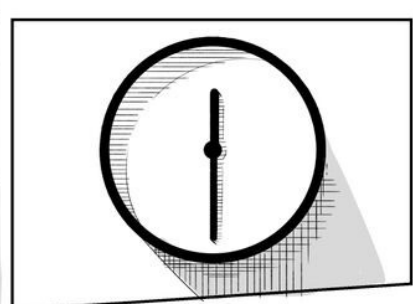
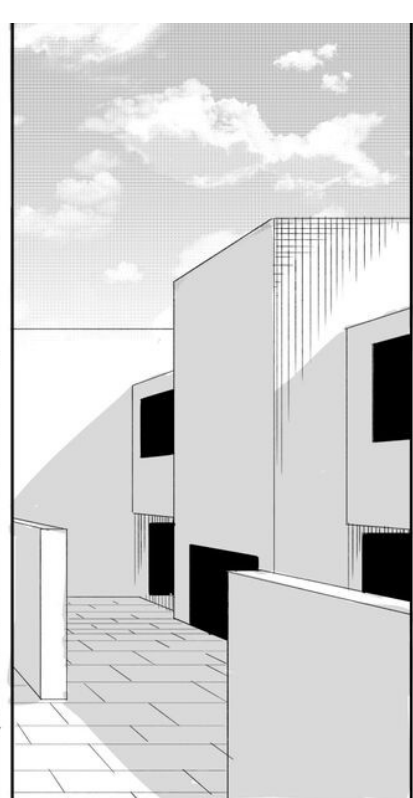
い〜!

い〜! い〜! い〜! い〜! い〜!

い〜!

い〜!





126

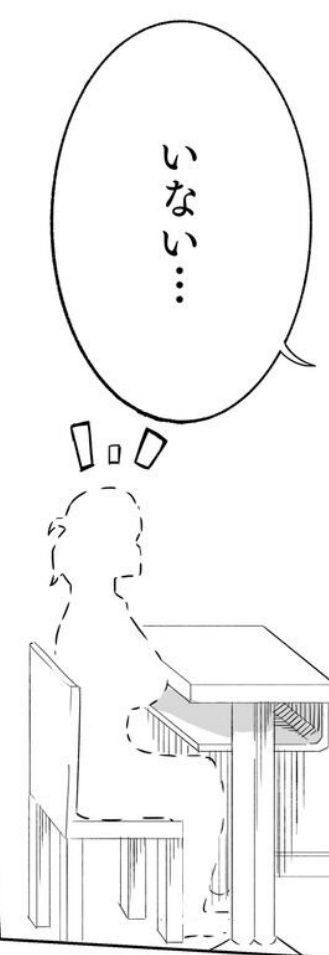
いない…

ねえ、レナ、  
ゆいなはどこ  
にいるの？

え!?  
さとるくん!?

126

122



今出かけたところよ…

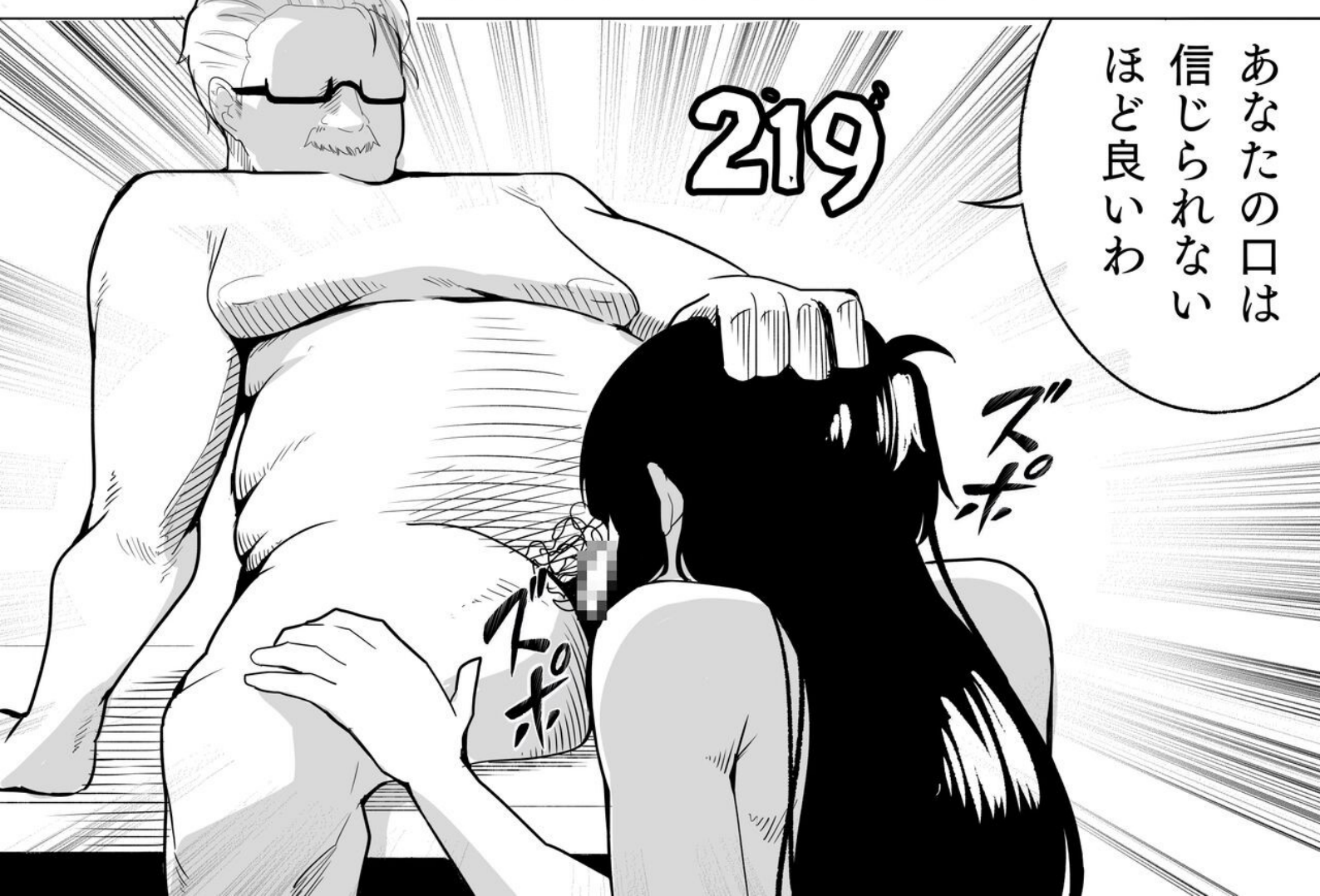
122

出かけたの？

どこ…

126





あなたの口は  
信じられない  
ほど良いわ

219

ズポ

ズポ

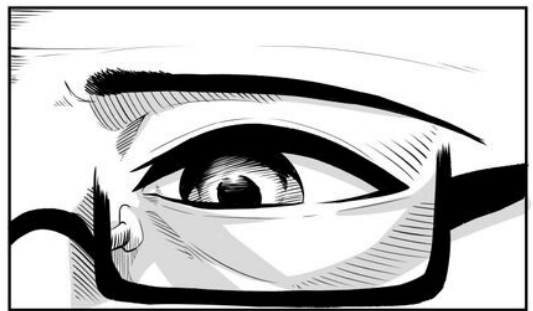
俺はあなたが受け入れる  
と分かっていたわ、

あなたは1番の生徒  
に相応しいから。

ド  
ン



ずっとそのおっぱいを  
試してみたかったんだ





信じられない、  
胸さえも一流だ。



ほふふ



ひんひん

ひんひん

遅すぎるよ！  
俺に任せて！

そんなことで  
いいんですか？







ゆいな？  
どこにいるの？



もしもし？



気持ち！

お昼休みが  
終わりそうなのに

どこにいるの？

ふー！

ご…ごめんなさん、  
仕事がたくさん  
あつて行けないの。

そうか…

無理しないでね。

いく！

愛してるよ。

ビュ  
ビュ  
ビュ

ビュ

君は間違いなく最高だ

ああ：  
素晴らしいだ



待ってください、  
これが続けたく  
ありません！

さて、メイン  
アクトに行こう



このまま俺を放っておいても大丈夫だと思うか？

195

ああ！



ほら...

195



やめてください...

これが続けたくありません



君はこれを望んでいる

いちゃ

いちゃ

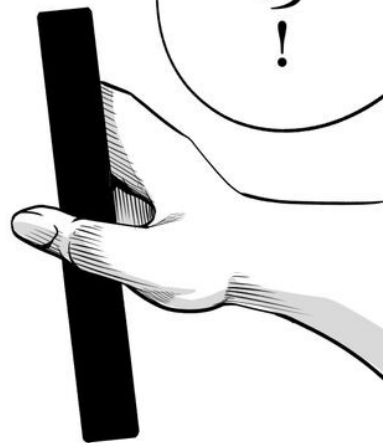


ああ... 迷惑だ

いちゃ

いちゃ

やめてください!



見ろ！

195

君の順位……

上がったよ



私の順位…

上がった？

言っただろう

順位を  
上げる方法を

嬉しくない？…

俺は…

知っている

195



君の選択は  
正しかった！

バ  
フ

私の順位：  
ハ  
ン  
ツ

上がった！

妊娠させてやるよ、  
クソビッチ！



く〜！

く〜！

く〜！







ああ、すごかった

151



おめでとう

これからもこのままでいれば、もし...



「すぐにナンバーワンになれるよ」